

令和5年度 第3回 京丹後市立病院経営強化プランに係る有識者会議 議事録

- 1 開催日時 令和6年3月1日（金）午後7時00分～午後8時00分
- 2 開催場所 京丹後市役所2階201・202会議室
- 3 出席者 **【委員】**
邊見公雄（座長）、上田誠（座長代理）、瀬古敬（欠席）、
藤井美枝子（欠席）、藤田眞一、船戸一晴（欠席）、坂根昇
【市役所】
濱副市長
【弥栄病院】
神谷病院長、田宮事務長、梅田管理課長
【久美浜病院】
赤木病院長、岡野事務長、平林管理課長
【事務局】
谷口医療部長、松本医療政策課長、大江課長補佐
- 4 内容 別紙（会議次第）のとおり
- 5 公開又は非公開の別 公開
- 6 傍聴人の人数 0名
- 7 要旨 下記のとおり

■開会

(事務局)

ただいまから令和 5 年度第 3 回京丹後市立病院経営強化プランに係る有識者会議を開催させていただきます。令和 4 年度から数えると 8 回目の会議となります。

また、本日はお仕事等でお疲れのところご出席いただきましてありがとうございます。

なお、本日はふるさと病院の瀬古委員、京丹後市社会福祉協議会の藤井委員から欠席の報告をいただいております。上田座長代理、船戸委員は少し遅れて来られると連絡をいただいております。

それでは、始めさせていただきますと思います。

本日の有識者会議では、京都府自治振興課との協議及びパブリックコメントを踏まえました病院経営強化プランの最終案について、有識者会議として最終的なご確認をいただければと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

本日は、副市長も出席させていただきますので、一言ご挨拶申し上げます。

(副市長)

皆さんこんばんは。

座長、オンラインでありがとうございます。

また会場の委員の方々もお疲れのところ金曜日この時間に本当にありがとうございます。

先ほど部長からもありましたとおり、これまで 8 回を重ねまして、経営強化プランにつきましても、いろいろなご意見をいただいて最終的な取りまとめという段階にきておりますので、今日は何卒よろしく願いいたします。

(事務局)

それでは資料の確認をさせていただきます。

まず「次第」、次に「席次表」、次に資料 1「京丹後市立病院経営強化プラン(案)」、資料 2「京丹後市立病院経営強化プラン(案)新旧対照表」、資料 3「京丹後市立病院経営強化プラン(案)に対する意見募集の結果について」でございます。なお、

資料4「京丹後市立久美浜病院整備基本構想（案）について」は後ほどお配りさせていただきます。

資料につきまして不足等ございませんか。もし不足しておりましたら、お申し出ください。よろしいでしょうか。

それでは、会議の進行を座長にお渡しし、座長に議事進行をお願いしたいと思います。

座長よろしく願いいたします。

■座長あいさつ

（座長）

皆さん、こんばんは。

まず、2月14日に診療報酬の細目といたしますか、項目が発表されました。

一番目新しいのは、地域包括ケア病棟の少し上位ランク、看護配置が大体13対1が多かったのですが、10対1でスーパーケア病棟みたいなものが地域包括医療病棟ということで、7対1を減らす受け皿的に、高齢者救急を受けるというのを名目に新しい病棟単位ができました。これが一番今回の改定の大きなところかと思っています。

それから、医療必要度、看護必要度のB項目が廃止されまして、これもかなり厳しいんですが、平均在院日数が18日から16日になります。2日減るということは大変なことで、厚労省の試算では、案2か案4と言っているようですが、案4が取られまして、これで厚労省の試算では10%ぐらい7対1が減るんじゃないかと言っていますけれども、我々病院団体のシミュレーションでは7対1から脱落するところは20%近いんじゃないかというような意見が多かったです。もっとなるんじゃないかという団体もありまして、ちょっとこれは予断を許さないなど。皆さんいろんな工夫で切り抜けないといけないということになっております。

介護報酬は1.59%と、介護離職者の防止とかですね、やっぱり他の産業との賃金格差等がありますので、介護もかなり手当されましたけど、これも実際にどれだけ有効かどうかということにはわかりにくいかと思います。

食事は1食30円上がりましたけれども、これもまた前と同じように25年間も

据え置かれると、光熱費とかいろんなことで、今、大変赤字基調の入院時食事療養費の手当もこれまた難しいのではないかと考えています。

いろんなところで改定の対応に皆さんお忙しいと思いますけれども今日はよろしく申し上げます。

ただ少しだけ救いなのは4月1日実施ではなく、今回から6月1日実施になり、2か月間うしろに延びましたので、その間にいろんなシミュレーションをして、どのように変化をしていくかという、病棟単位とかですね、新しい病棟に手を挙げるかどうか、いろんなことをやっていただければよいかと思っています。

それでは議事に従いまして、本題に入っていきたいと思っています。

まず、京丹後市立病院経営強化プラン（案）について、事務局からご説明お願いいたします。

■京丹後市立病院経営強化プラン（案）について

（事務局）

- － 資料1「京丹後市立病院経営強化プラン（案）」、
- 資料2「京丹後市立病院経営強化プラン（案）新旧対照表」、
- 資料3「京丹後市立病院経営強化プラン（案）」に対する意見募集の結果について」、に基づき説明　－

（座長）

前回までの有識者会議後のプラン（案）の変更点とか、そのあとに行った市民からの意見募集の結果についてご説明いただきました。

今のご説明に対して、委員の皆さん、ご意見あるいはご質問ございませんか。

大きいところでは変更点はあまりないかとは思いますが、どなたかございませんか。

両病院の関係者の方もよろしいですか。

特にございませんか。

ありがとうございます。

それではもしありましたら、また後ほどでも結構ですので、次の議題に進めたい

と思っております。

次は久美浜病院の整備基本構想ですが、これは非公開ということになっておりますので、ご了承いただきますようお願い申し上げます。

事務局からご説明お願いいたします。

■京丹後市立久美浜病院整備基本構想（案）について（非公開）

－資料4「京丹後市立久美浜病院整備基本構想（案）について」（非公開）－

（座長）

得意な面を伸ばしながら総合的に今の機能を維持するという感じで新しい構想を考える。例えば、弥栄病院では将来は循環器とか自分の得意なところを伸ばしながら、協調性を持ってやっていく。地域性もありますので、救急とかはある程度、両方ともやらなければいけない。別に重複するということではなくて、やらなくてはいけないこともあると思いますし、いろんな特徴を生かしながら、みんながそれぞれ自分のところの強みを生かしながら積み上げていくのが一番いいのではないかと思っています。また、医師会、歯科医師会、薬剤師会も一緒に巻き込んでいく必要があります。もう1つはやはりDX。人がいなくなるようになると、やはりやらなければならないと思います。DXを取り入れないといけない。人がいなくなるわけですから。人の分を機械でやってもらわないと、能率、効率を上げていかないといけないと思っております。

この前、東京で診療報酬の改定のセミナー、DPCを含めてやりましたけれども、四国中央市の民間病院の先生にも講演していただきましたけれども、診療所の先生が高齢化したので病院からそこへお手伝いに行くと。診療所の先生も時々病院へお手伝いに行くと。そういうふうな交互乗りで、そういうのも今後田舎では必要になるのではないかという感じがいたしました。少し参考になればと思って、情報提供でした。

皆さんよろしいですか。

（事務局）

それでしたら、京丹後市立病院経営強化プラン（案）ですが、こちらにつきましてはこの内容をもって最終案として確認をさせていただきたいと思います。

邊見座長のほうから委員の皆さんに確認をお願いしてよろしいでしょうか。

（座長）

皆さん、それではこの案を最終案としてよろしいですか。

[異議なしの声]

この案を最終案として京都府へ提出していただいて、総務省ということですね。京都府から差し戻されるということはないですね。

（事務局）

はい。京都府自治振興課からは確認をいただいていますので大丈夫だと思います。

（座長）

はい。ありがとうございました。

皆さん熱心に議論していただきましてありがとうございました。

令和4年度から続けてきましたけれども、事務局に進行をお返しする前に、座長代理から先にご挨拶をしていただきたいと思います。よろしくお願いたします。

（座長代理）

最終案としてありがとうございました。いろんな機会の中で言っているのですが、今年のお正月に能登半島地震がありました。能登に行った方の話を聞くと能登の事情というのは丹後半島に非常に当てはまる部分があるんだということで、これを機会に災害に対することも考えなければならぬと。病院の建替えについても、結局、地元の医療機関というのは、震災兆候というよりもそのあとの関連死をどうやって防ぐかというようなところに役割があると思いますので、そこら辺を見据えた

計画もしっかり考えて、シミュレーションしなくてはいけないなんてこともありますので、またいろんな機会に皆さん方のお世話になることもあると思いますので、よろしくお願いいたします。

以上です。ありがとうございました。

(座長)

事務局から最後によりしくお願いいたします。

(事務局)

座長ありがとうございました。

本日も長時間の会議お疲れ様でした。

委員の皆様には、令和4年度から長期間にわたりましてお世話になり、京丹後市立病院経営強化プランの最終案を確認いただくことができました。

改めてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

今後、このプランに関するスケジュールですが、先ほど、説明もいただきましたとおり、3月11日に開催されます丹後保健所主催の令和5年度第3回丹後地域医療構想調整会議において、このプラン案を最終案として提案し、特段の意見や修正等がなければ、そこでこの案で策定するとして事務的に進めることとなります。

プラン策定後につきましては、京都府自治振興課を通して総務省へ提出され、京丹後市、京都府及び総務省のホームページにおいて公開される運びとなりますのでご承知おきいただければと思います。

今年度につきましては、有識者会議としてお集まりいただくのは本日が最後となりますが、有識者会議としましては、本プランの点検・評価をしていただく役割もがございますので、来年度以降もどうぞよろしくお願いいたします。

事務局からは以上でございます。ありがとうございました。